

(左)

普及活動の成果

課題名：集落営農組織等の育成による中山間地農業の活性化

振興局名：県北振興局

活動対象：集落営農法人、集落営農組織、農作業受託組織・機械共同利用組織、中山間直接支払取組集落

実施期間：平成29年4月～平成30年3月

【対象の概要】

県北地域では、H28年度末で、集落営農法人が5法人、集落営農組織が9組織、農作業受託組織・機械共同利用組織が37組織あり、地域の担い手として活動している。

【課題設定の背景】

県北地域は、水田の割合が62%と高いが裏作活用が少なく水田の高度利用を図る必要がある。

また、担い手が不足する地区では、既存組織の育成・強化並びに新たな作業受託組織等の設立など水田農業の担い手育成による地域農業営農システム構築が必要である。

28年度に集落意向調査を実施し、重点支援集落の検討、各市町での推進体制の整理を行ったが、推進体制の整備強化が必要である。

【活動目標】

- 1 関係機関一体となった集落営農推進体制構築による集落営農組織の育成を図る。
- 2 集落営農組織間の連携を図り、排水対策を徹底し水田農業活性化に向けた新規品目を検討する。
- 3 集落営農組織（法人）の設立支援を行う。
- 4 担い手の不足する地域の現状を把握し、地域に応じた組織育成を支援する。

【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】

各市町、JA本店、各営農経済センターと情報共有化を図り連携し活動している。

市町担い手協議会等の連携会議開催、推進地区集落リーダ-との調整

JA:TAC会議、技術者会専門部会等推進会議の開催、生産物の栽培技術・販売支援

振興局集落リーダ-会、集落営農勉強会で情報提供、各種事業活用、専門家派遣、研修会開催支援

【活動経過】

(1) 推進会議・研修会、地区連携会議

- ・集落営農推進について各市町、JA 営農セク-ごとに検討し推進地区の状況把握と情報共有化を図った。
- ・管内の集落営農組織・法人、農作業受託組織、中山間直接支払集落、多面的機能取組集落のリーダ-、関係機関を参集し、集落営農組織育成研修会を実施した。専任講師による講演、地元法人化事例紹介を行い集落リーダ-の意識向上を図った。
- ・JAのTAC会議において、推進地区の進捗状況確認や、重点地区の情報収集を行った。

(2) 集落営農組織連携会議・研修会、組織育成強化支援

- ・松浦市の集落営農法人（長溪の風御厨木場、清流の里木場）に対して、組織育成研修会、土づくり研修会への参加誘導、新規試作品目の栽培技術、排水対策等の情報提供を行った。長溪の風、御厨田代、赤木機械利用組合の集落リーダ-に対しての集落リーダ-育成塾参加による支援を行った。
- ・長溪の風、清流の里に専門家派遣による支援を行った。長溪の風では優先的に取り組むべき課題の整理や法人化した目的を確認し、清流の里では、組織運営の課題や適正な決算処理に対して助言が得られた。
- ・御厨田代集落で集落営農の必要性や近隣の長溪の風事例の紹介等による集落営農勉強会を開催した。
- ・集落リーダ-塾参加者等を対象として集落営農組織管内視察研修を清流の里で開催し、集落リーダ-に組織化や法人経営等についての情報提供、意見交換を行った。

(3) 集落営農組織の法人化支援

- ・長溪の風御厨木場の法人登記支援や、特定農業団体等に対して法人化に向けた検討会や状況聞き取り等を行った。草ノ尾、里美、佐々木場に専門家派遣、草ノ尾、飯良、瀬道、里美、佐々木場の集落リーダ-に対して集落リーダ-育成塾参加による支援を行った。
- ・草ノ尾で法人化説明会を実施し、事業計画、収支計画等事業目論見書(案)を検討した。

- ・戸平田、飯良、瀬道で運営状況の確認、佐々木場でワーキングを行い集落の課題を明らかにし、導入し
様式6 (右)

たい品目について各自の意見を出しあった。

- ・長溪の風で、従事分量配当、経理処理等について税理士からの情報提供や、専門家派遣による支援を行った。

(4) 担い手育成支援

- ・担い手不在地域の中山間直接支払取組集落等に対して、組織育成研修会への参加を案内した。
- ・佐世保市の馬責、平戸市の生月御崎で集落リーダ-育成塾参加による支援、佐世保市の前平、馬責、菰田、船ノ村で集落リーダ-打合せ、吉元で集落営農勉強会を実施した。
- ・平戸市の釜田川で基盤整備、中間管理機構の説明と合わせて集落営農の説明、裏作推進を行った。生月御崎では、集落営農検討会を行い、地域住民を含めた検討を進めていくことになった。大野平原で基盤整備推進と合わせて担い手の確保について検討した。
- ・松浦市の柚木川内、横辺田で集落リーダ-と打合せ後、集落営農勉強会を開催した。

【普及活動の成果】

- ・集落営農推進地区、集落営農推進重点地区について、関係機関の情報共有化、意識の統一ができた。
- ・集落営農組織育成研修会は、多くの生産者に出席してもらうため2地区で開催し、事前周知を十分に行った結果延べ268名が参加した。
- ・長溪の風の組織化事例紹介等により、松浦市の推進地区において勉強会実施の動きがみられた。
- ・清流の里の試作品目大豆24aの収量は約390kgで、約160kg/10aの単収が確保できた。
- ・長溪の風、清流の里でマップアップ計画が作成できた。
- ・(農)長溪の風が6月1日付で法人登記できた。
- ・草ノ尾では法人化の参画について4名が加入意向である。
- ・集落営農組織(2要件組織)として佐世保市の世知原未来を考える会、機械利用組合として、松浦市志佐里機械利用組合、佐々町の東部地区機械利用組合が実績見込みとなった。



【集落営農組織育成研修会組織化事例紹介(松浦市)】 【集落営農組織育成研修会森先生講演(佐世保市)】

【対象の声】

- ・研修会は参加しやすい形で開催された。新規試作品目等、情報提供支援をお願いしたい。

【今後の課題】

- ・各市町、JA営農経済セクター連携会議等の実施、JAのTAC会議により、集落営農推進重点地区を中心に推進方法を検討し、引き続き推進地区についての情報共有化、新たな推進地区の情報収集を行う。
- ・長溪の風、清流の里の交流による集落営農組織連携を進め、組織運営上の課題や、新規品目の取組みについて検討、情報提供等による支援を行う。
- ・草ノ尾では法人化に向けた支援、その他の特定農業団体等(戸平田、飯良、瀬道、志戸氏、里美、佐々木場、平戸小麦生産組合)については、リーダ-会等の実施による今後の方向性、体制づくりを検討する。
- ・推進地区について集落リーダ-と打合せ、意向確認を行い、地域の実情に応じた組織化、機械利用組合については集落営農組織(法人・2要件組織)化に向け推進戦略を検討し進める必要がある。基盤整備に取り組む地区については、基盤整備推進とあわせて集落営農組織化を進める。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

- ・集落営農推進については、組織化が目的ではなく、地域の農地を守り、地域の活性化に繋がるような取組みを十分に話し合い進める必要がある。

【発表・参考資料】 なし